

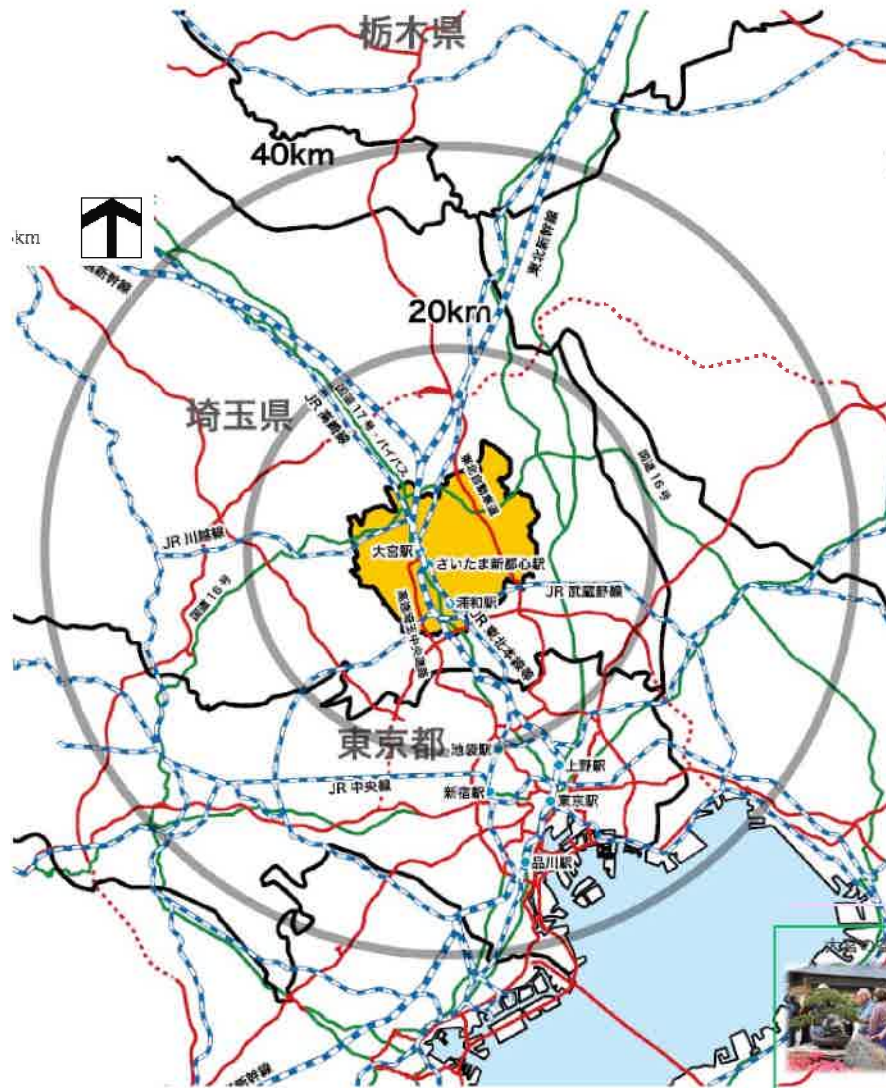


# さいたま市の自転車活用と 今後のまちづくり

---

さいたま市長 清水 勇人

# さいたま市の概要



- 東京都心から20~40km・埼玉県南東部に位置
- 政令指定都市・県庁所在地
- 新幹線6路線が集まる交通結節点

- 2001年5月 さいたま市誕生  
埼玉県内で初の100万人都市
- 2003年4月 政令指定都市移行（全国で13番目）
- 2005年4月 岩槻市と合併

## 人口・世帯数(2022/07/01現在)

人口：1,338,341人(前月比増減 535人)

男性：664,113人

女性：674,228人

世帯数：629,660世帯(前月比増減 486世帯)

### 年齢別の内訳

14歳以下

172,662人

15~64歳

856,077人

65歳以上

309,602人





## さいたま市の特徴

- 交通利便性が高く、広範囲にアクセスが可能
- 東北・北陸圏、北海道を連結する **首都圏対流拠点!**
- 新幹線6路線を始め、鉄道、高速道路網が発達した **東日本の玄関口!**
- 首都直下地震の発災時は首都圏のバックアップ拠点の最前線としての役割

【国土形成計画首都圏広域地方計画（国土交通省）】

大宮駅を起点に、東日本へのアクセスが便利に!



# さいたま市の特徴（自転車利用の現状）

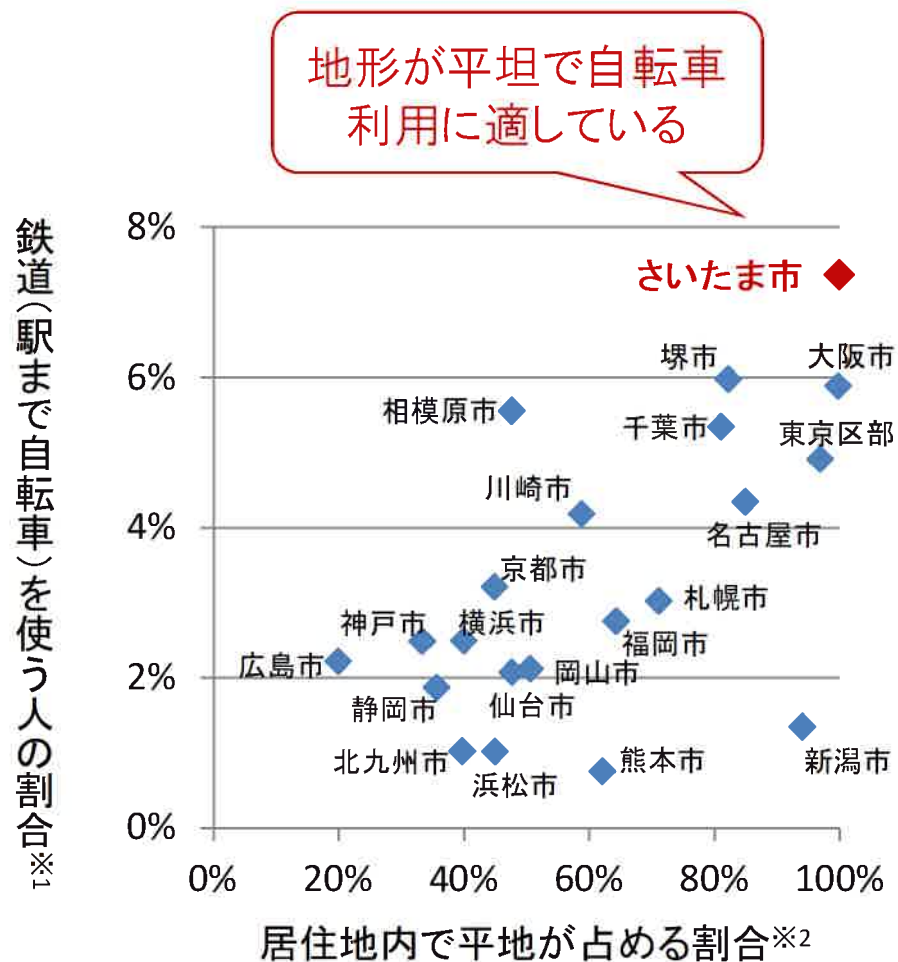


図. 平坦性と自転車利用の関係（政令市）

【資料】※1 H22国勢調査（15歳以上の通勤・通学時の交通手段）

※2 H23国土数値情報（傾斜3°未満の面積割合）

表. 自転車保有状況（14大都市）

	世帯での自転車保有率
<b>さいたま市</b>	<b>78.2%</b>
京都市	75.8%
大阪市	74.0%
千葉市	66.6%
仙台市	65.9%
広島市	64.6%
名古屋市	64.6%
東京区部	62.3%
福岡市	61.2%
札幌市	60.3%
川崎市	59.8%
横浜市	57.5%
神戸市	48.4%
北九州市	47.6%

【資料】平成30年度自転車保有実態に関する調査報告書（一般財団法人自転車産業振興協会）

# これまでの自転車まちづくりの主な取組



ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム



自転車ネットワーク路線の整備状況



シェアサイクル

2018年6月

- 自転車活用推進計画の閣議決定

2016年3月

- さいたま自転車まちづくりプラン  
～さいたまはーと～ 策定（31施策）

2014年4月

- 自転車まちづくり推進課を新設

2013年5月～2022年1月  
コミュニティサイクル事業の展開  
（大宮駅を中心3キロ圏内に展開）

2013年10月～  
ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムの開催

2014年4月  
自転車ネットワーク整備計画の策定  
（整備目標：令和4年末までに200km）

2017年5月

- 自転車活用推進法の施行

2018年11月～  
シェアサイクル実証実験を開始

2022年3月

- 自転車まちづくりプラン  
～さいたまはーと～見直し



# さいたま市が目指す自転車まちづくりの将来像

人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま





# 自転車まちづくりの施策の取組 (たのしむ、まもる、はしる、とめる)

自転車まちづくりの取組は、「たのしむ」「まもる」「はしる」「とめる」の施策を柱とし、ハード・ソフトの両面から総合的に推進。

## <施策の柱>

### たのしむ

自転車を活用して余暇を充実させる取組



### まもる

自転車の正しい利用の仕方を身に付ける



### はしる

自転車通行環境や快適な利用を推進



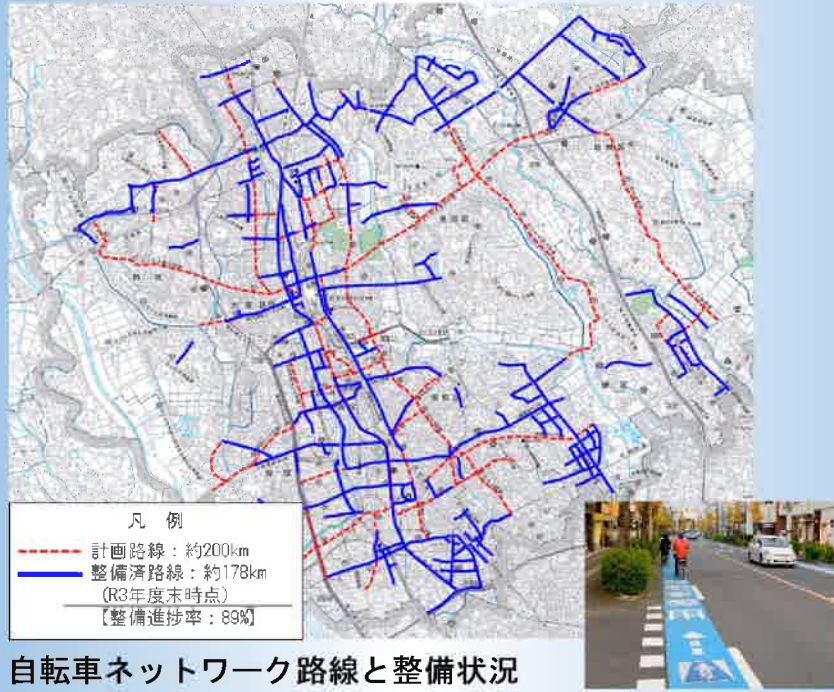
### とめる

自転車駐輪場環境を充実させる取組

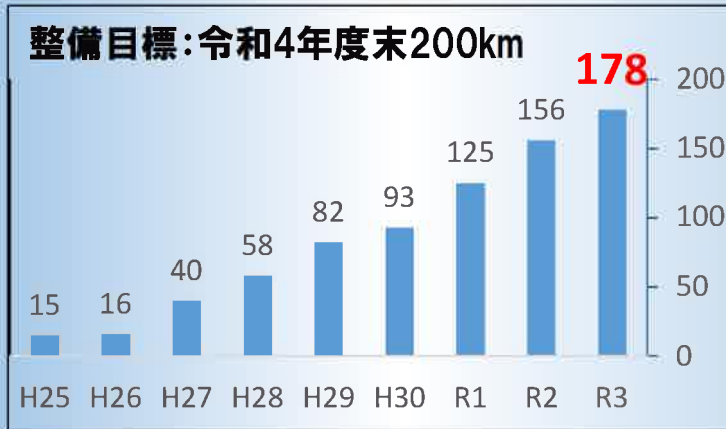


# 自転車まちづくりの主な取組の成果（ハード面）

## ① 自転車ネットワークの整備状況

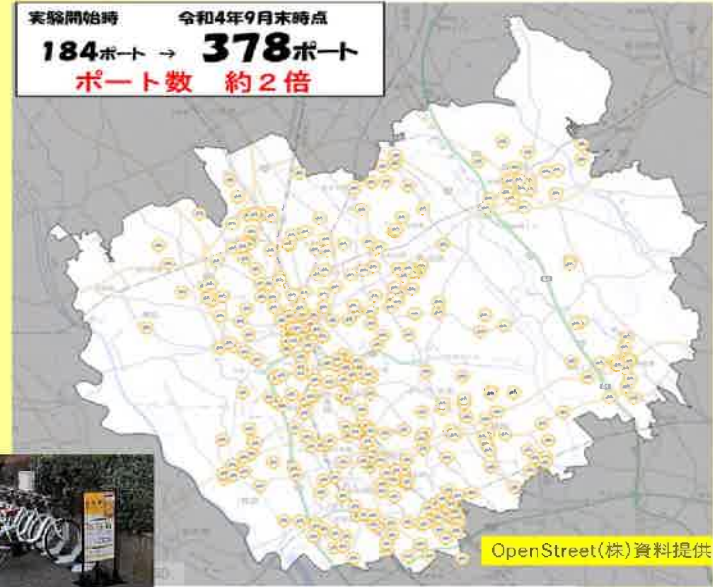


整備目標: 令和4年度末200km

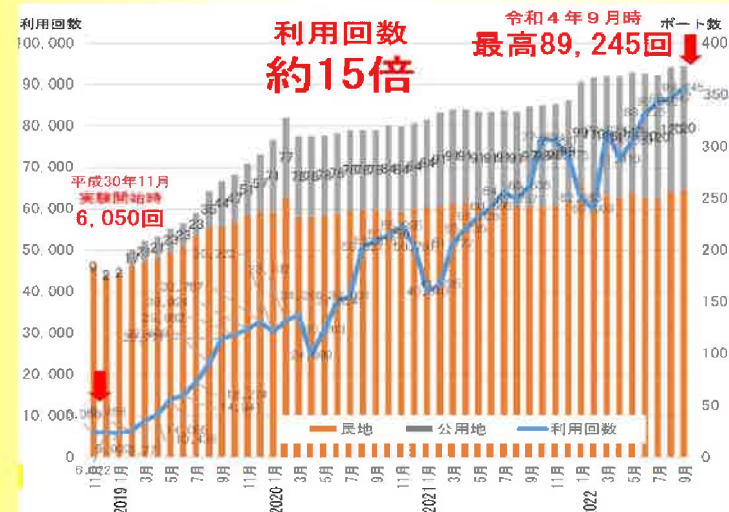


自転車通行環境整備延長 (km)

## ② シェアサイクルの利用状況



さいたま市内ポート配置図



ポート数と利用回数のグラフ



# 自転車まちづくりの主な取組の成果

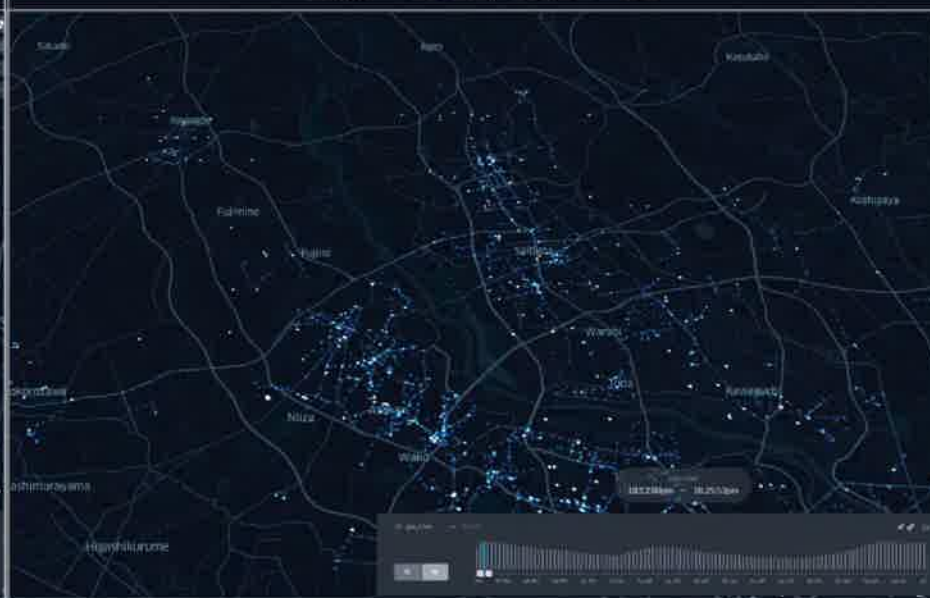
## さいたま市 地震発生時のシェアサイクルへの影響

2021/10/07 22:41 M5.9 (最大震度5強)

前夜：2021/10/06-07



当夜：2021/10/07-08



18pm

© OpenStreetMap contributors, © Mapbox

地震発生後⇒ 夜間利用 通常時 3.3倍  
翌朝利用 通常時 2.2倍  
長距離利用増

# 自転車まちづくりの主な取組の成果（ソフト面）

## たのしむ



ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム



サイクルサポート施設「サイクルステーション」



サイクリングマップの作製

## まもる



交通安全教育の推進（自転車プロチームとの連携）



交通安全教育の推進（自転車運転免許制度）



自転車安全利用の人材育成（購入費補助時の講習受講）



自転車安全利用に関する広報・啓発



# 自転車に関連する近年の社会動向

## 1 持続可能な開発目標 (SDGs)



自転車活用が複数の目標達成に資することが期待される

## 2 脱炭素社会の実現にむけた動き

- ・ 2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言 (R2. 10)
- ・ 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を策定 (R2. 12)

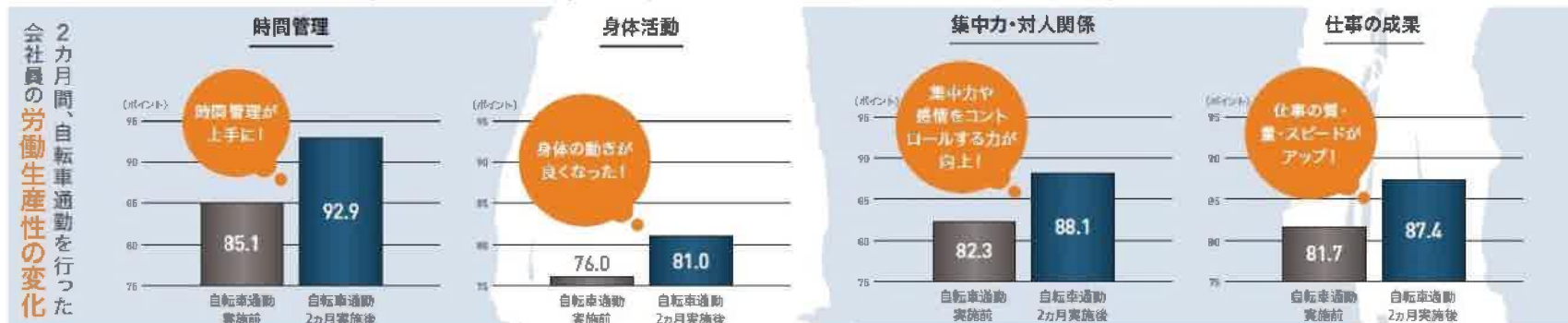


- ・ **スマート交通の導入**(MaaSの普及、CO2排出の少ない輸送システムの導入など)
- ・ **自転車移動の導入促進**

# 自転車に関連する近年の社会動向

## 3 自転車による健康増進効果に脚光

- ・ 自転車による健康増進効果に関する調査・研究結果の認知度向上。



➡ **健康以外の要素との連携促進  
(環境、通勤、生きがい、サイクリングスポーツ普及等)**

## 4 高齢化・クルマ社会への対応

➡ **運転免許証の申請取消者(免許返納者)の新たな足の確保で自転車に期待**  
令和元年度における運転免許の申請取消件数

管区	都道府県(方面)	申請取消件数										
		65歳以上		70歳以上		75歳以上		80歳以上		85歳以上		
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	
関	茨城	10,779	10.447	96.9	9,746	90.4	7,671	71.2	5,225	48.5	2,260	21.0
	栃木	8,409	8.131	96.7	7,569	90.0	5,955	70.8	4,281	50.9	1,916	22.8
	群馬	8,861	8.647	97.6	8,139	91.9	6,713	75.8	4,863	54.9	2,241	25.3
	埼玉	35,564	34.007	95.6	30,046	84.5	18,766	52.8	10,922	30.7	3,392	9.5
	千葉	29,404	27.951	95.1	24,645	83.8	15,561	52.9	9,079	30.9	2,988	10.2
	神奈川	46,159	43.849	95.0	38,264	82.9	22,205	48.1	12,021	26.0	3,485	7.5
東	新潟	10,323	10.057	97.4	9,307	90.2	7,368	71.4	5,426	52.6	2,410	23.3
	山梨	3,160	3.086	97.7	2,954	93.5	2,369	75.0	1,759	55.7	892	28.2
	長野	9,575	9.351	97.7	8,854	92.5	7,301	76.3	5,516	57.6	2,858	29.8
	静岡	20,800	20.161	96.9	18,678	89.8	14,314	68.8	9,839	47.3	4,166	20.0
	小計	183,034	175.687	96.0	158,202	86.4	108,223	59.1	68,931	37.7	26,608	14.5



# 自転車に関連する近年の社会動向

## 5 まちづくりとの連携

- ・パブリック空間の「ウォーカブルな人中心の空間」への転換推進
- ・まちなか空間の多様な利活用の促進イメージの中で自転車通行空間の位置付け

■再配分による主な空間の変化

Before



After

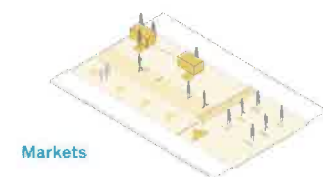


：歩道や広場等

出展：道路空間再編・  
利用事例集に一部加筆

## 6 新型コロナウイルス感染症予防

- ・人との接触を低減する移動手段として自転車利用が推奨される。
- ・海外ではソーシャルディスタンスを保つための道路利用として、自転車や歩行者等の空間拡大の検討が進む



Streets for Pandemic Response & Recovery | 06/21/2020

# 都市が抱える課題解決に向けた更なる自転車の活用

○慢性的な交通渋滞、公共交通の利便性向上、地域活性化、ウォーカブルなまちづくり、交通弱者の外出機会創出など、様々な課題がある。

市全域	中心市街地	郊外住宅地
<p>①幹線道路の慢性的な<b>交通渋滞の解消</b></p> <p>②コロナ禍・Postコロナにおけるライフスタイル価値観の変化に合わせた<b>移動手段の充実とモード間連携・地域連携による公共交通の利便性向上・地域活性化</b></p> <p>③自家用車から徒歩・自転車・公共交通への<b>行動変容促進</b></p> <p>④駅周辺における<b>ウォーカブル</b>な都市環境の形成</p>	<p>⑤鉄道駅周辺の慢性的な<b>交通渋滞の解消</b></p> <p>⑥東日本の玄関口としての<b>交流拠点</b>形成</p> <p>⑦大宮－さいたま新都心間の<b>回遊性向上</b></p> <p>⑧商都大宮をはじめとするまちの<b>にぎわい再生</b></p>	<p>⑨生活拠点施設への<b>アクセス改善</b> (自家用車に依存した生活行動の解消)</p> <p>⑩交通弱者の<b>外出機会の創出</b> (新型コロナウイルス感染症に伴い外出機会が一層減少)</p>

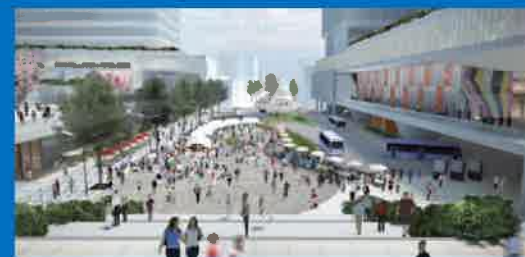
課題解決に向けた取組

## スマート・ターミナル・シティさいたま実行計画 (さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム)

### ➤課題解決の方向性

#### 駅を核とした「スマート・ターミナル・シティ」

さいたま市のスマートシティのコンセプト「市民のウェルビーイングな暮らしを実現する〈スマートシティさいたま〉」の構築に向け、駅を核としたウォーカブルでだれもが移動しやすい、人中心に最適化された都市空間・環境を形成





# 「スマート・ターミナル・シティ」の取組状況

- 近年の社会動向を踏まえながら、自転車を含めた様々なモビリティを活用。
- 産官学民が広く連携し、各種事業を実施。

## ➤実施施策

**施策① 健康で環境にやさしい脱クルマ依存型生活行動を支え、地域回遊性を高める〈モビリティサービスの充実〉**

- シェア型マルチモビリティの導入
- AIオンデマンド交通の導入

**施策② モビリティと地域経済活動が連携した〈ライフサポート型MaaSの構築〉**

- モビリティを軸にしながら、買い物等のサービス・データを連携・統合

**施策③ スマートプランニングによるウォークブルな都市空間・環境の形成**

- ライフサポート型MaaSから得られるデータ等を活用したスマート・プランニングにより施設配置や空間整備等、最適な空間計画を実現



## ■ 運営体制



## ■ マルチモビリティステーションイメージ





# 将来都市のイメージ (さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム)

■ 将来イメージ：エリアの特性を踏まえて最適な手段を用いることで、  
人中心に最適化された都市空間・環境の形成を目指す



※「大宮GCSプラン2020」のまちの将来像イメージより作成



# (1) 2022 J:COM presents

## ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム

日 時 11月6日 (日) 11:00~17:00  
会 場 さいたま新都心駅周辺

# (2) 2022サイクルフェスタ

日 時 11月5日 (土) 13:00~17:00  
11月6日 (日) 10:00~17:00  
会 場 さいたま新都心公園周辺  
(さいたま新都心駅東口より徒歩6分)



# (3) 2022さいたまるしえ in さいたまクリテリウム

日 時 11月5日 (土) 10:00~17:00  
11月6日 (日) 10:00~17:00  
会 場 さいたま新都心けやきひろば 2F

